



第43回 定時総会

2025年の香川同友会を語る パネルディスカッション

【パネラー】五十音順

代表理事

明石 光喜 氏

明石建設(株)

副代表理事

井本 康裕 氏

㈱松倉製作所

副代表理事

岩田 弘司 氏

香川ヤクルト販売(株)

副代表理事

黒川 保 氏

㈱たも屋



【コーディネーター】

有吉 徳洋 氏

㈱エワンセキュリティサービス

有吉 早速ですが明石さん、香川同友会の抱えている課題、進むべき方向性についてお聞かせください。

明石 同友会理念「同友会の三つの目的」「自主・民主・連帯の精神」「国民や地域と共に歩む中小企業をめざす」、この3点を自社経営で実践するために学び、努力する集団が同友会ですが、振り返るとこの理想を具体的に落とし込み、夢を語ってこなかったのが課題であり、進むべき方向に向かっていないということになると思います。皆さんは将来自分が変わり、地域が変わっていく姿を語り合っていますか？との問いかけが足りなかったことがまず挙げられます。その為には、会員が主体性を持って同友会運動に参加し、経営と運動が表裏一体、また車の両輪として位置づけることが大事かと思っています。自社の経営理念を創り、何のために経営をしているのか。どんな会社にするのかを、誰が見ても理解できる普遍のものにする為に、大切なことは同友会型の理念経営を目指すことです。

有吉 明石さんから経営理念が非常に大切であるというご意見が出ましたが、井本さんはどうお考えですか。

井本 私の場合、経営の勉強など全くせずに経営者になった為に会社経営が窮地に追い込まれ、助けを求めて同友会に入会したという苦い経験がありますが、理念を創って指針書経営を始めてから「理念」を基本において経営の安定が図れた

ように思います。計画を立て、未来を語る
ことが、社員の定着率向上にも繋がっ
たと思います。そういう意味で、同友会
型経営指針はやはり手放せないもので
す。

有吉 経営指針書がいかに関大事かがよく
わかりましたが、明日の資金繰りに苦し
んだり売上げが上がらずに悩んでいる人
が、経営指針書を創ろうと思うかどうか、
黒川さんはどう思われますか。

黒川 たしかに会社がうまくいってない
ときは指針書創りどころではないと思い
ます。そういうときは例会に参加して、
いろんな人からアドバイスやヒントをも
らい、少しでも余裕ができたなら創ればい
いのではないかと思います。何事にもタ
イミングがあるので、儲けだけに走って
いるのではないだろうかと考えるときが
あったら、そのときは経営指針書を創れ
ばいいのではないかと思います。

有吉 経営理念とは、経営の価値判断の
基準となる根本的考え方を表わしたもの
のようですが、黒川さんのお話だと経営
指針書は経営の免許証ではないかと思わ
れます。では経営指針書を創るにはどう
すればいいのか。それについては同友会
の中に仕組みがありますので、岩田さん
からお話をお願いします。

岩田 同友会の中に『経営指針を創る会』
があり、委員会のメンバーが中心になっ
て取り組んでいます。私自身もそうだっ
たのですが、どこから手をつければいい



黒川 保氏



井本 康裕氏

のかさっぱりわからないところからの出
発なので、安心して参加いただければと
思います。

有吉 ビジョンは、経営理念を追求して
いく過程における自社の理想的な未来
像、理想像を具体的に書き表したもので
すが、その中の人を生かす経営とは、岩
田さんどういったものでしょうか。

岩田 人を生かす経営とは労使見解のも
と、人間尊重の経営のことをいいます。
人を生かす経営を実践する為に何をやれ
ばいいのか。その一つの方法として、経
営指針書創りの窓口である経営労働委員
会、共同求人委員会が窓口の人材の採用
があります。次に経営者と社員が共に学
ぶ、社員教育委員会があります。障がい
者の方の雇用が窓口の障がい者問題委員
会がありますから、それぞれの委員会
で人を生かす経営のエキスを学んでいただ
ければと思います。私自身、創業者の父
親から経営を引き継いだものの、長く勤
めている社員との考え方のギャップ等
でずいぶん悩みました。そのときに活用し
たのが経営指針の作成です。

有吉 明石さんにお聞きますが、会社
のビジョンは？

明石 2年ほど前にビジョンを考える検
討会を立ち上げ、10年ビジョンを作成し
ました。「みんなの笑顔で、お客様を笑
顔に、〽地域からあてにされる会社へ〽」
ですが、ビジョン創りの過程の中で地域
からあてにされる会社にならなくてはい

けない。地域のホームドクターのような形になるのが、我が社の使命ではないかと新たに付け加えたものです。これは、ビジョンを考える検討会のお陰と非常に感謝しています。地域については皆さんにもぜひ考えて頂きたいと思っています。

有吉 同友会のビジョンと自社のビジョンが一体であり、同友会活動と自社経営が一体で動いているとよく理解できました。同友会の第7次ビジョンを読むと香川同友会がこれから進んでいく道が明らかになります。第7次ビジョンは「地域づくり」「企業づくり」「同友会づくり」の3つに分かれています。その中に「地域づくり」に関しては少し離れているような印象があります。井本さんいかがですか。

井本 なぜ同友会が地域づくりを？という疑問があるかもしれませんが、一言で言うところ「三つの目的」の三つ目の、良い経営環境をつくる。ではないかと思っています。我々中小企業は地域の状態が良くないからと、そう簡単に会社を他の場所へ移すことは困難です。会社が存在する地域を良くすることで経営環境、言い換えると外部環境にもなりますが、それを良くしていこうというところに、同友会が地域づくりに取り組む意味があると思います。ですから、同友会の地域づくりはボランティアや単純な地域貢献だけでなく、自分たちの為にやって



有吉 徳洋氏



明石 光喜氏



岩田 弘司氏

いると思っています。わかりやすいと思います。ちなみに我々が地域づくりを考えると、香川同友会の地域づくりのビジョンは、香川県や高松市の地域のビジョンと重なっていかねければならないわけです。私も中小企業が地域の企業として住民の皆さんのお役に立ち、自分たちも成長していくことで、第7次ビジョンの地域づくり分野のテーマの「心豊かに『人が生きる』地域」の実現に繋がっていると思っています。

有吉 ありがとうございます。続いて「企業づくり」についてお聞きします。岩田さん、良い会社とはどんな会社でしょう。
岩田 まず人を生かす経営に真摯に取り組んでいる会社であり、若者から求められる会社、多様な人材が活躍する会社、そんなことが言えるかと思っています。それから、経営者と社員、全社一丸となっている会社、あるいは黒字経営は当然ですが、働きがいや暮らしの安定が保障されるような会社づくりに努めている会社だと考えます。

有吉 では良い会社にする為に経営者はどうあるべきか、あるいは理想の姿について、引き続き岩田さんにお伺いします。
岩田 第7次ビジョンにあるように、社員をパートナーとして認め、親が子を思うような人間的な優しさと共に、経営者としての厳しさをバランス良く持ち合わせたような経営者が求められています。自己変革と人間的成長を目指す経営者

で、社員にだけ求めるのではなく、自ら努力して自己変革することを実践している経営者、あるいはそれを目指している経営者ではないかと思っています。そして、地域社会があてにし、あてにされるような企業づくりを目指している経営者だと思っています。

有吉 企業が抱える多くの課題の中でも、人手不足は多くの経営者を悩ませている問題ですが、ちゃんとした企業を目指すことで人手不足の解消に繋がっていくと思われませんか？黒川さんにお聞きます。

黒川 私の考えですが、まず社風が大事だろうと思います。社風は最大の教育者と言われますが、トップの人格を反映した社風をつくると思っています。その為に自己変革が求められるわけです。同友会で学んで自己変革していくことと、仕事をしながら自分は何物なのか、役割は何かを見極め知ることだろうと思います。同友会に入会して11年になりますが、経営には全く無知だった私が、少しずつですが、学びによって気づきがありました。あくまでも私は職人ですが、経営者としての自覚が芽生えたと思います。このように同友会での学びは一つの参考書だと思っています。素晴らしい体験報告を聞いても同じようなことは決してできません。だから自分は何者なんだということを理解し、それを参考書にしてどうすればいいかを考えていくことが大事だと思います。

います。そうすれば、会社の進むべき方向を語り、私の思いをしつかり伝えることができるかと考えています。私の会社はうどん屋ですが、うどん屋は手段であって、何の為の会社なのかを伝え、理解してもらって同じ方向を向いて進み、社員のやりがいや働きがいのある社風をつくっていく、地域にとってなくてはならない会社にしていくことだと思います。

有吉 第7次ビジョンには我々の経営の課題の解決のヒントがいっぱい入っています。ただし、同友会づくりに関しては

きちんと確認していかなければならないと思っています。ところで、仲間づくりに関して井本さんはどう受け止めておられますか。

井本 地域づくり目線で考えると、同友会で人を生かす経営を学んだ経営者とその会社の社員が地域に溢れたときに、人に優しい住みやすい地域ができるように思います。それが仲間づくりに繋がるのではないかと思います。

有吉 ありがとうございます。皆さんのお話から、同友会の役割は我々の事業において非常に大きなものであることを改めて認識したように思います。最後に明石さん、総括をお願いします。

明石 まず同友会とはどんな会なのかを確認し、同友会理念に基づいた経営が大事だというお話がありました。そして、2025年には地域や同友会、自社がどうなっているかを第7次ビジョンで描いています。皆が心を一つにして、地域からあてにされるちゃんとした企業を目指して頂きたいと思っています。また、仲間づくりは単に数字を追うのではなく、ビジョンにあるような元気な地域と同友会をつくっていく、会員数2000名、組織率12・5パーセントの達成を目標に、「人を生かす経営で、光り輝く地域をつくる」。このスローガンのもと、取組みを続けていきたいと思っています。

有吉 パネラーのみなさん、貴重なご意見をありがとうございます。



PHOTO DIARY 定時総会のもようを スナップショット!



開会の挨拶
香川同友会
代表理事／川北 哲氏



来賓の挨拶
四国経済産業局 地域経済部
次長／山本 秀欧氏



来賓の挨拶
香川県
審議監／安松 延朗氏



来賓の挨拶
高松市
副市長／松下 雄介氏



来賓の挨拶
東かがわ市
副市長／松岡みどり氏



来賓の挨拶
四国職業能力開発大学校
校長／相良 和伸氏



ご臨席いただいた来賓の皆様

四国経済産業局／地域経済部 次長
香川県／審議監
高松市／副市長
東かがわ市／副市長
四国職業能力開発大学校／校長
株式会社百十四銀行／地域創生部部长
株式会社 香川銀行／取締役本店営業部長
高松信用金庫／専務理事
観音寺信用金庫／専務理事
株式会社日本政策金融公庫
高松支店 中小企業事業
中小企業事業本部／四国地区統轄 兼
高松支店中小企業事業統轄
香川県信用組合／理事長
中小企業家同友会全国協議会／専任講師
中小企業家同友会全国協議会／副会長
徳島県中小企業家同友会／代表理事
愛媛県中小企業家同友会／代表理事
愛媛県中小企業家同友会／代表理事
高知県中小企業家同友会／代表理事
徳島県中小企業家同友会／事務局長
高知県中小企業家同友会／事務局長

山本 秀欧 様
安松 延朗 様
松下 雄介 様
松岡みどり 様
相良 和伸 様
對馬 敬生 様
長町 亘洋 様
三好 真樹 様
山本 重明 様
三好 純 様
川畑 貢 様
松井 清充 様
山城 真一 様
平野 啓三 様
米田 順哉 様
大石 真司 様
佐々木雅信 様
真鍋 麻美 様



役員代表挨拶
香川同友会
代表理事／明石 光喜氏



来賓の挨拶
(株)香川銀行 取締役本店営業部長／長町 亘洋氏



来賓の挨拶(乾杯)
香川県信用組合
理事長／川畑 貢氏



感謝状授与 児嶋 敏希氏



組織表彰 中讃第1支部
池内 健太氏(代理)



組織表彰 高松第7支部
渡辺 修氏



組織表彰 高松第9支部
朝倉 誠氏



広報・情報化表彰 高松第8支部



広報・情報化表彰 高松第8支部



同友会大学表彰 高松第4支部
柳萬 聖隆氏



同友会大学表彰 中讃第2支部
野田 勝利氏